

再 評 価 書

箇所名	一般県道一志出家線	事業名	道路事業	課名	道路建設課 (津建設事務所)
事業概要	工期 (下段当初)	H18年度～H33年度	全体事業費 (下段当初)	2,940百万円(負担率:国5.5:県4.5)	
		H18年度～H33年度		2,940百万円(負担率:国5.5:県4.5)	
事業目的及び内容					
<p>■当該路線の概要</p> <p>一般県道一志出家線は、津市一志町田尻から津市庄田町字八王寺田に至る延長2.6kmの路線です。当該路線は、主要地方道久居美杉線と国道165号とを結ぶ道路であり、高野団地を中心とした旧一志町中心部から旧久居市街地へのアクセス道路として市道高野田尻線と一体となって利用されています。</p> <p>当該事業区間は、道路幅が狭小ですが、小学校の児童や中学校の生徒が通学しており、車道の路肩を歩行している状況です。また、国道165号庄田交差点は地域の主要渋滞箇所となっています。</p> <p>さらに、一級河川雲出川に架かる中川原橋は、幅員が狭小なため自転車や歩行者の通行は常時危険な状況にあり、大型車との対向にも支障をきたしています。また、当橋梁は、昭和31年に供用し、供用後約60年経過して老朽化が進んでいます。</p> <p>■事業目的</p> <p>当該事業は、幅員狭小区間の拡幅、歩道の整備、橋梁架け替えを行い、円滑な自動車交通の確保、歩行空間の安全性の確保、橋梁の老朽化対策を図るものです。</p> <p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画期間 16年間(平成18年度～平成33年度) ・全体事業費 2,940百万円(工事費:2,529百万円,用地費:411百万円) ・計画延長 L=1,300m(起点)津市一志町高野～(終点)津市庄田町字八王寺田 ・幅員 W=6.00(11.25)m ・主要構造物 橋梁 2橋 					
事業主体の再評価結果					
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成18年度に事業を着手しましたが、事業採択後一定期間を経過した時点で継続中であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条(2)に基づき再評価を行いました。</p>					
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <p>① 平成26年度末の事業進捗率は事業費ベースで17%(工事11%,用地55%)となっています。</p> <p>② これまでに、全体延長1,300mのうち約80mを供用しています。</p> <p>2-2 今後の見込み</p> <p>今後、現状での用地買収等の状況を踏まえ、用地買収の推進と橋梁部の早期着手を図り、平成33年度の全線供用に向けて取り組めるものと考えています。</p>					
<p>3 事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>一志出家線と高野団地を繋ぐ市道高野田尻線は、平成20年の踏切区間の拡幅工事により全線改良されていることから、当該事業の必要性はますます高まっています。</p>					

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

事業区間全体の費用対効果分析の結果は、

走行時間短縮便益	32.1 億円
走行経費減少便益	1.9 億円
交通事故減少便益	0.001 億円
総便益	33.9 億円
総費用	25.0 億円

費用便益比は「1.4」となります。

4-2 その他の効果

① 通学路の確保

- ・歩行者、自転車の安全確保

② 住民の安全安心の確保

- ・中川原橋の架け替えに伴う耐震性の確保

4-3 地元の意向

当該区間は一志町住民にとって生活を支える重要な生活道路ですが、幅員が狭小であるため大変な不便を強いられており、この区間の早期供用を強く要望されています。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

耐候性鋼材の使用、張コンクリート工の施工、LED照明の採用によりコストの縮減を図ります。

5-2 代替案

既に多くの用地取得が進んでおり、代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

当事業は、平成18年度に事業着手しており、今回は1回目の再評価になります。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。